

「学級作り～基本となる活動に重点を置いて～」

牧野 紘子

☆係活動を思い出してみよう



<一人一役の原則>

- ・日常当番＝毎日しなければ困ること
例：朝来たら窓を開ける係、健康観察係、本棚整頓係など
- ・係活動＝毎日しないもの
例：お楽しみ係、ベルマーク係、合唱係など

全員が、自分の仕事に責任を持ち、きちんと学級の仕事を果たしていく。
学級への責任感を持つことによって、自分はこの学級の一員だという自覚を持つ。
最終的には、先生に指示されなくても自分たちで動けるようになる。

しかし、問題点も考えられる。

- ・低学年はどこまでできるのか
- ・全員分の仕事を見つけるのは大変ではないか、仕事に差はできないか
- ・慣れてくるとサボる子がでてきたり、いいかげんにならないか

<まとめ>

今後は、多くの文献に目を通し、学級づくりの基本的な活動の例を洗い出し、それぞれの良いところ、悪いところを整理し、最終的には、基本的な活動における学級づくりの原則を、自分なりに考えたい。

参考文献

「学級づくり三原則」 野中信行先生著